

多可きんタイムズ

2014.11.1
平成26年 29号

発行:多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142
E-mail: kodomo@town.taka.lg.jp



表紙写真 八千代中学校

おもな内容

- ・認定子ども園化に向けた取組
- ・全国学力・学習状況調査の結果
- ・ピックアップ学校園
- ・あったかトピック

認定こども園化に
向けた取組

新制度スタート

平成27年4月、子ども・子育て支援新制度がスタートします。すべての子どもたちが笑顔で成長していくために、またすべての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられるために、新制度が始まることになりました。新制度では、次の4つを重点的に進めることになっています。

- ① 幼稚園と保育所の良いところを一つにした「認定こども園」の普及を図ります。
- ② 保育の場を増やし、待機児童を減らして、子育てしやすい、働きやすい社会にします。
- ③ 幼児期の学校教育や保育、地域の様々な子育て支援の量の拡充や質の向上を進めます。
- ④ 子どもが減ってきている地域の子育てもしっかり支援します。

中区の3園を

認定こども園化

加美区と八千代区には、公立の幼保一体施設のキッズランドがありま。中区には、私立の保育所が3園（みどり保育所、あさか保育園、四恩保育所）と公立の中町幼稚園の計4園があります。「多可町内3区の保育環境を同じにする」という考えのもと、中区でも公立のキッズランドをつくり1園にできないか、中区内の民間3園を1園にして共同経営で幼保一体施設ができないかなど、町と民間3園で話し合いを進めてきましたが、なかなか調整ができませんでした。

そのようななか昨年6月に、中区内の3保育所が、新制度スタートに合わせて幼保連携型認定こども園を目指すことを表明。これを受け、多可町は公立の中町幼稚園を閉園し、民間3園の認定こども園を支援していく方向性を打ち出しました。子どもの数が減っていくなか中区内で4園体制を維持していくことは難しいと考え苦渋の決断をしました。

中区内の3つの私立保育所は、現在、0歳～5歳児を受け入れる保育園ですが、認可の幼稚園も取得して3歳～5歳の幼稚園児を受け入れるという計画です。認定こども園に

なる運営者側のメリットとして次の4点があげられます。①従来の保育所では保育の必要な子しか受け入れることができないが、認定こども園になれば幅広く児童を受け入れることができるようになる。②新制度では施設型給付により幼稚園児も含めて国から補助金が受けられる。③従来は幼稚園の認可申請をして認定こども園化の申請をするといった2つの申請をしなければならなかったが、新制度に合わせて認定こども園の申請をすれば1回の申請のみで済む。④認定こども園になるための施設整備に関して県・町から有利な補助金を受けられるなどです。



みどり保育所

認定こども園とは

平成26年4月1日現在、県内の幼稚園、保育所など118園が認定こども園として認定を受けています。認定こども園の認定数は、兵庫県が全国第1位です。

認定こども園の特徴としては、
・親の就労の有無にかかわらず施設利用が可能に

・適切な規模の子ども集団を保ち子どもの育ちの場を確保

・既存の幼稚園の活用により待機児童対策を推進

・専業主婦家庭への支援を含む地域子育て支援が充実 などです。

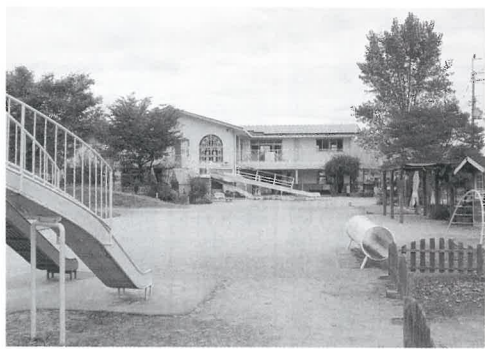
幼稚園と保育所については、近年保護者の就労の有無で利用する施設が限定されてしまうことや、幼稚園と保育所が地域に別々に設置されていると子どもの成長に必要な規模の集団が確保されにくいこと、子育てについて不安や負担を感じている保護者の方への支援が不足していることなどの課題が指摘されており、制度の枠組みを越えた柔軟な対応が求められています。幼稚園と保育所の良いところを活かしながら、その両方の役割を果たすことができるような新しい仕組みを創るため、平成18年に「就学前の子どもに関する教育、

保育等の総合的な提供の推進に関する法律」が制定され、「認定こども園」がスタートしました

「認定こども園」は、幼稚園や保育所などのうち、次の2つの機能を備える施設を、兵庫県知事が認定します。

- ・保護者が働いている、働いていないにかかわらず就学前の子どもの受け入れ、幼児教育・保育を一体的に提供する機能で、これにより、待機児童の解消や、子どもの育ちに大切な集団規模が確保できます。
- ・地域の子育て家庭を対象に、相談活動や親子の集いの場などを提供し、子育て支援を行う機能で、育児不安の大きい専業主婦家庭などへの支援の充実が図られます。

このように、「認定こども園」は、幼稚園と保育所の良いところを活かしながら、その両方の役割を果たすことができる施設です。



あさか保育園

今年度の事業と

今後の予定

今年度の予定ですが、まず3つの認定こども園の整備を進めます。みどり保育所は別の場所に全面新築建て替えになります。また、あさか保育園、四恩保育所については施設の一部増築、全面改装です。3園とも来年4月のオープンを目指します。

併せて、幼稚園教育研修事業を行っています。3園は保育所の経験はとも豊富ですが、幼稚園教育は初めてということもあり、中町幼稚園が40年間培ってきたものをしっかり受け継ぐ意味で、また小学校へつなぐ大切な幼児教育の現場を学ぶために兵庫教育大学附属幼稚園などの県内の幼稚園等に3園から延べ19週にわたり保育士・幼稚園教諭等の職員が出掛けて約1週間の実習研修を受けています。

また、教育委員会ではこれまでから民間3園への定期的な園訪問、情報交換会、また幼稚園・保育所（園）長会を毎月開催して情報共有を図っていますが、さらに連絡・連携を密にしながらいっしょに幼稚園教育にあたりたいと考えています。



四恩保育所



来年度の入所説明会

来年度に向けて入所（園）説明会を11月8日（土）午後1時30分から加美プラザで開催します。説明会では入所手続きの方法や保育料、通園バスなどについて説明させていただきます。予定ですが、新年度の保育料は据え置く方向で検討を進めています。町内のどの区にお住まいでも保育料が同じ、また公立のキッズランドに通っていたとしても、民間の認定こども園に通っていたとしても保育料を同じにするという考えです。

来年度から中区の保育環境が大きく変わります。中町幼稚園がなくなり、みどりこども園、あさかこども園、四恩こども園（仮称）ができます。加美区にはキッズランドかみ、八千代区にはキッズランドやちよ、ちびっこランドらくえんがあります。また、園舎をもたない森のようちえんも多可町で開設しています。どの園に通っていたのかは、入園説明会でよくお話を聞いていただき、保護者の皆様に選んでいただきたいと思えます。



閉園される中町幼稚園



全国学力・学習状況調査の結果

本年4月22日に、小学校6年生と中学校3年生を対象として実施された、平成26年度全国学力・学習状況調査結果に関して、概要を報告いたします。

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果（表Ⅰ）

		国語		算数・数学	
		知識A	活用B	知識A	活用B
		平均正答数	平均正答数	平均正答数	平均正答数
小6	多可町	9.7/15	4.9/10	13.2/17	7.0/13
	兵庫県	10.9/15	5.5/10	13.2/17	7.6/13
	全国	10.9/15	5.5/10	13.3/17	7.6/13
中3	多可町	25.7/32	4.4/9	24.5/36	9.1/15
	兵庫県	25.6/32	4.6/9	25.1/36	9.2/15
	全国	25.4/32	4.6/9	24.3/36	9.0/15

（凡例：9.7/15 9.7は平均正答数、15は問題数を表しています。）

多可町の平成26年度全国学力・学習状況調査の結果

- 小学校国語：「知識A」 全国の平均正答数を下回っている。
「活用B」 全国の平均正答数を下回っている。
- 小学校算数：「知識A」 全国の平均正答数と同程度である。
「活用B」 全国の平均正答数と同程度である。
- 中学校国語：「知識A」 全国の平均正答数と同程度である。
「活用B」 全国の平均正答数と同程度である。
- 中学校数学：「知識A」 全国の平均正答数と同程度である。
「活用B」 全国の平均正答数と同程度である。



明らかになった

成果と課題

（◇は成果 ◆は課題）

【小学校 国語】

◇漢字の読みについては、大半の児童ができています。

◇仮定の表現を用いて適切な文に書き直すことは、大半の児童ができています。

◆資料から情報を取り出し、立場や根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。

◆分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらを関連づけながらまとめて書くことに課題がある。

【小学校 算数】

◇整数、小数、分数の基礎的な四則計算は、大半の児童ができています。

◇単位体積と測定については、大半の児童ができています。

◆示された情報を基に、数量関係の大小を判断するときに、根拠となる事柄を示して理由を記述することに課題がある。

◆示された情報を解釈したり整理したりしながら数量関係を把握し、筋道立てて考えていくことに課題がある。

【中学校 国語】

◇漢字の読み書きについては、大半の生徒ができています。

◇登場人物の心情や行動を捉え内容を理解して読んだり、その場に相応しい言葉で表現したりすることは、大半の生徒ができています。

◆根拠として取り上げる内容を正しく理解したり文章や資料から必要な情報を取り出したりして、伝えたい事柄を明確にして書くことに課題がある。

【中学校 数学】

◇文字式を理解することや線対称な図形を完成することは、大半の生徒ができています。

◇与えられた図から、空間における位置情報を読み取ることにについては、大半の生徒ができています。

◆提示された統計資料やグラフを基に傾向や特徴を把握し、数学的な角度から、その意味を理解することに課題がある。

◆不確定事象の起こりやすさや資料の特徴を的確に捉え、判断の理由や方法を数学的に説明することに課題がある。



メール等をする時間 (表Ⅱ)

(小:小学校 中:中学校)

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
多可町(小)	2.4%	3.0%	3.7%	7.3%	7.3%	23.8%	52.4%
(中)	3.2%	6.4%	17.3%	15.5%	11.8%	11.4%	34.5%
兵庫県(小)	2.9%	2.3%	3.7%	6.6%	10.7%	30.5%	43.1%
(中)	10.8%	8.6%	12.0%	14.3%	13.0%	16.6%	24.5%
全国(小)	2.7%	2.3%	3.7%	6.4%	10.4%	28.2%	46.3%
(中)	11.0%	8.8%	12.9%	15.0%	13.0%	15.5%	23.5%

①4時間以上 ②3時間以上、4時間より少ない ③2時間以上、3時間より少ない
④1時間以上2時間より少ない ⑤30分以上、1時間より少ない ⑥30分より少ない ⑦持っていない

【生活習慣と学力】
平日の1日あたり(1時間以上)携帯電話やスマートフォンで、通話、メール、インターネットをする割合は、本町の小学生はほぼ全国平均で、中学生はやや低い傾向にあります。(表Ⅱ)

全国的には、これらの時間が短い児童生徒の方が、各教科での正答率が高い傾向が見られます。

学習時間 (表Ⅲ)

(小:小学校 中:中学校)

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥
多可町(小)	4.9%	10.4%	43.9%	31.7%	4.3%	4.9%
(中)	5.0%	26.4%	45.9%	16.8%	5.9%	0.0%
兵庫県(小)	15.8%	17.2%	29.7%	23.6%	9.7%	3.8%
(中)	10.4%	25.9%	31.4%	16.4%	9.5%	6.3%
全国(小)	11.2%	14.6%	36.2%	25.2%	9.5%	3.2%
(中)	10.4%	24.7%	32.8%	17.3%	9.0%	5.7%

①3時間以上 ②2時間以上、3時間より少ない ③1時間以上、2時間より少ない
④30分以上1時間より少ない ⑤30分より少ない ⑥全くしない

【学習習慣と学力】
「学校の授業時間以外に平日、1日あたりどれくらいの日、勉強をしますか。」を示す結果では、本町の児童生徒の学習時間はやや少ない傾向にあります。(小・1時間以上中・2時間以上)(表Ⅲ)

また、家で小学生では「予習」を、中学生では「復習」をしている児童生徒は、正答率が高い傾向が見られます。

読書の時間 (表Ⅳ)

(小:小学校 中:中学校)

選択肢	①	②	③	④	⑤	⑥
多可町(小)	7.9%	10.4%	18.9%	25.6%	15.2%	21.3%
(中)	5.5%	8.2%	16.8%	28.2%	14.1%	27.3%
兵庫県(小)	8.4%	9.9%	18.9%	25.7%	16.4%	20.5%
(中)	6.1%	7.9%	14.5%	20.9%	12.7%	37.7%
全国(小)	7.6%	10.4%	20.2%	26.5%	15.9%	19.3%
(中)	6.7%	8.9%	15.8%	21.6%	12.6%	34.3%

①2時間以上 ②1時間以上、2時間より少ない ③30分以上、1時間より少ない
④10分以上、30分より少ない ⑤10分より少ない ⑥全くしない

【読書活動と学力】
「家や図書館で平日、1日あたりどれくらいの日、読書を読みますか。」を示す結果では、30分以上読書をする本町の児童生徒の割合は、ほぼ全国平均といえます。(表Ⅳ)

また、「読書が好き。」と回答した小学生は、正答率が高い傾向が見られます。さらに、本町では1時間以上読書する児童生徒の割合は、昨年度より少し増加しています。

【学校の授業と学力】

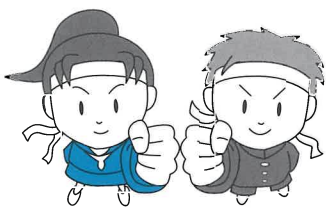
本町では、「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いている。」
「算数や数学の授業で、公式やままりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。」と回答した児童生徒は、正答率が高い傾向が見られます。

また、「授業の中で、自分の考えを発表している。」と回答した児童生徒は、正答率が高い傾向が見られます。

【改善への取組】

調査の結果を踏まえ、学力調査結果分析委員会を開催し、正答率が低かった問題の傾向等を分析するとともに、多可町としての課題を把握しながら今後の指導に生かしていきます。

また、昨年度、多可町教育委員会が作成した「家庭教育支援冊子」を十分に活用していただくことや、家庭教育の大切さを啓発していくとともに、家庭とも連携強化を図りながら、児童生徒の学力向上に取り組んでいきたいと考えています。





中町幼稚園では、空いた保育室を『絵本の部屋』と『アトリエ』として使っています。

『絵本の部屋』は、わくわくタイム（好きな遊びの時間）に自由に絵本を見たり、毎週木曜日の絵本の貸し出しを行ったりしています。『アトリエ』は、絵画・製作活動の部屋として活用しています。廃材や色々な材料・用具などを使って、いつでも活動に取り組めるようにしています。

そのアトリエでは、幼児が興味をもったことを、自分で試したり工夫したりできるよう、幼児がもっているイメージを実現できるように、思い切り楽しさを味わえるような場でありたいと考え、環境を整えています。

毎日、アトリエには、“こんなものを作ろう”、“あんなことを描こう”など目的をもってやって来たり、来てから思いついて活動したり、それぞれ色々な表情を見せて遊んでいます。



～ アトリエで楽しく描いたり作ったりしよう ～

子ども達は、自分のクラスの保育室でも可能ですが、アトリエという部屋があることで、描いたり作ったりすることが好きな子ども達が、遊びたい日に、遊びたい時に、好きな友だちと、または一人でも遊びに没頭できる場であると思います。

また、自分がしている遊びが継続しやすい空間でもあります。思い切り楽しさを味わったり、遊びたい気持ちを持ち続けたりする場や時間を確保することが大切であると思います。

子ども達が、したいことが実現できるように、素材や用具を豊富に用意しておき、思いが実現できるように、共感したり一緒に遊んだり、見守ったり後押ししたりして、その子らしさを発揮しながら遊びを作っているような場でありたいと思っています。



1000チャレ&新チャレ ～進んであいらつこ～

2学期から、あいらつをもっともつとできるようなするために2つのチャレンジ目標を設定して、取り組んでいくことにしました。

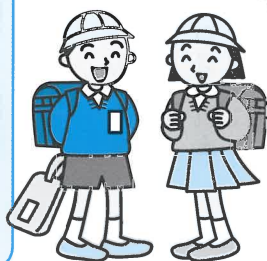
1つ目は、1000チャレです。全員が「1000人とあいらつをしよう」という目標を立ててあいらつをします。1000人あいらつした人は、「あいらつ名人」として、名前を掲示します。あいらつは、友だちとのあいらつだけではなく、家族や地域の人とのあいらつも合計して行います。2つ目は、新チャレです。30



人の新しい友だちとあいらつをしようという目標を立てて、初めてあいらつする新しい友だちを増やして、進んであいらつをします。

中町南小学校では、9月から校内の中央廊下から職員室前を「あいらつ通り」として、特に朝の8時から10分間、子どもたちが元気な声であいらつができる通りにするようにしています。

特に、6年生を中心に、子どもたち同士が元気な声で、あいらつをしている姿が増えてきました。生活の基本はあいらつからというように、これからもどんどん大きな声であいらつが増える学校目指して、みんなで頑張っていきます。



【あいらつのチェックポイント】

- ① 相手を見てあいらつしよう。
- ② 聞こえる声であいらつしよう。
- ③ 立ち止まり、

おどろきをしてあいらつしよう。

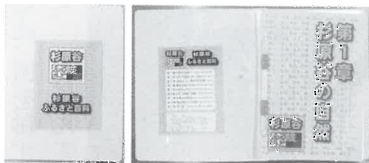


びっくあつ

ふるさとを愛する児童の育成を！ —「杉原発ふるさと百科」と「ふるさと検定」—

りと『杉原谷ふるさと検定』の実施に取り組みました。その取組の一端を紹介します。

まずは、『ふるさと検定実行委員会』を立ち上げました。この会は、学校事務局をはじめPTA役員や保護者ボランティアなど10名程度の委員で編成し、子ども達の目線にたち長く愛されるふるさと百科になるようにと繰り返し会議を持ちました。また地



【本校HPよりダウンロードできます】

杉原谷小学校

本校では、長年にわたり、杉原紙の紙漉きをはじめとして、ホタル・梅花藻の環境学習や孝女小春・山口茂吉など偉人学習を通して、子ども達に「ふるさとを愛する心」「ふるさとを誇りに思う心」の育成に努めてきました。

域の方に協力を願い、たくさん情報を集めました。1年にわたる編集作業の結果、杉原谷の自然・歴史・暮らし・年中行事・方言・地区名の由来・特産品など全9章からなる『ふるさと百科』（112頁）が完成し、各家庭に配布しました。



続いて『ふるさと検定』実施に向けての取組がスタートしました。ふるさと百科を基に問題選定や問題文の編集・校正、認定証作りを経て、今年3月1日の検定会実施に至りました。また、給食時にはふるさとクイズを放送し、検定会への気運を高めていきました。当日は169名の児童と13名の保護者が熱心に問題用紙に向かいました。

（保護者の声より）家で子どもたちと『杉原谷ふるさと百科』の冊子を見て、クイズをしたり話をしたりして楽しい時間が過ごせました。ずっとここに住んでいても、知らないことがたくさんあつておもしろかったです。

私たちは守り抜きます 八千北伝統！ 全校鼓笛隊



今年の八千北は全校生73名、6年生は7名という少人数です。そんな条件の中、毎年お世話になっている正井明孝先生の熱心な指導のもとに始まった鼓笛練習。今年も人数の関係で、多くの4年生が難しい楽器を受け持たなくてはなりません。小さな体にならずしりと重い太鼓、なかなか音のでないトランペット等々、練習は大変でした。6年生を中心に、例年より早くから練習を開始するとともに、運動会が近づくと朝や放課後の練習が加わり、真剣さも一層増してきました。

一方、3・4年生が受け持つリーダーは、人数の関係で音が小さくなるのは仕方ありません。でも、正確な音とリズム、行進の足並みを揃えることに心がけ、練習に練習を重ねました。



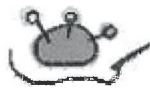
かりと伝授し、可愛過ぎる「ルパン三世」が完成しました。9月20日(土)、秋季運動会。いよいよ練習の成果を発揮する日です。午後の最初の演技「マーチング2014(鼓笛)」。入場門に整列すると、それまでざわついてきた集落テントは次第に静かになり、まもなくシーンと静まりかえりました。地域の皆様の鼓笛に対する大きな期待を、子どもたちは知っています。「八千北伝統 鼓笛」：そんな重圧も感じながら、開始の合図を告げる指揮者の笛が、グラウンド全体に鳴り響きました。年々、児童数が減少する中、「今年の鼓笛はどうなるのだろうか？」「地域の方に披露できるまでに完成するのだろうか？」等、職員にはそんな不安もありました。でも、それは見事に払拭されました。「昨年より：」「一昨年より：」などという比較ではなく、全員が心をひとつにして、今年の鼓笛を「一生懸命頑張ろう」という熱意がしっかりと伝わってきたのです。真剣な表情で演奏・演技する児童の姿に、私たち職員は胸が熱くなる思いでした。ご観覧頂いた保護者・地域の皆様も、きっと子どもたちの素晴らしさを感じて頂けたのではないのでしょうか。

まっすぐに前を見て
全身に力を込めて

空いっぱいに鳴り響け

八千北全校鼓笛隊

八千代北小学校



八千代西小学校

「世間利を求むるは、田を耕す者より先なりはなし、一を種えて万倍す」これは、「報恩経」の一節らしい。これに基づく四字熟語が「一粒万倍いちりゅうまんばい」で、一粒の種が万倍となつて稲穂のように実るという意。別の辞書には、「①わずかなものが非常に大きく成長することのたとえ。また、少しでも粗末にできないという気持ちをも表す。②稲の別称でもある。」と出ている。



米づくり(稲作)については、小学校5学年社会科の農業学習の内容として取り上げられている。しかし、米づくりについては、農業生産としてだけでなく、歴史や環境、食文化といったさまざまな側面がある。本校でも、無農薬栽培をめざして合鴨農法に取り組んだり、稲の成長の様子を身近で観察できるように、田んぼでの米づくりと併行してバケツ稲作りに取り組んだりしたこともあった。また、果実等他の作物と比較して、栽培や収穫後の食材に加工される過程が複雑で

お米を作る体験

～「一粒万倍」の心を感じる～

あることから、近畿農政局の支援を得て、自分たちの手で粃すりと精米を行ったりもしてきた。今は、田植えと稲刈りを3年生以上の児童で行い、苗の世話と、機械による脱穀・粃すり作業は、3年生のみが手伝うことで、その過程を体験している。

初夏に素足で泥田に入り、自分の手で1株ずつ小さな細い苗を植え、秋にたくさんの実をつけ太くなつた稲を1株ずつ刈り取つて稲木に干す。落ち穂もできるだけ拾い集めて束にする。近年は、「田植え」と「稲刈り」だけの活動になつてはいるが、これらの作業を通して、「一粒万倍」の心を少しでも感じてくれたらいいなと思う。



一粒のお米への感謝と、一人一人の子どもたちの万倍の成長を願つて…

今年も、10月8日に地域の方々の力を借りて、キヌムスメの稲刈りを行った。11月には、収穫したお米をおにぎりにして「ふれあい食事会」でいただく予定。

八千代中学校

9月13日(土)に第44回体育祭が行われました。秋晴れの空の下、「Get Together ～感動与えろ～」のスローガンを掲げ、学校を挙げ、大いに盛り上がった一日になりました。その様子を紹介します。



入場行進の様子

夏休みから3年生を中心に応援合戦やファイナーレ(組体操)、各競技の計画、応援旗の制作と様々な準備を行ってきました。



紅白の応援旗

クラス一丸となつて取り組む「大むかで競走」は始業前、放課後などを利用して練習を積み重ねており、白熱した戦いが繰り広げられました。



混戦!「大むかで競走」



引いたり、走ったり…



ファイナーレの大技、七段ピラミッドです。今年の夏、大きな水害を受けた丹波市へのエールを込めて、垂れ幕には「がんばろう丹波」の文字を入れ、体育祭の昼休み中には生徒会を中心に募金活動も行いました。

生徒だけでなく八千代中学校に関わるすべての人が、一つになり感動を共有できる体育祭を行うことができました。



びっくあつ

北はりま特別支援学校

北はりま特別支援学校は、小学部・中学部・高等部・のぎく訪問学級・さずな訪問学級・在宅訪問学級で、全校児童生徒160名が、学校・医療福祉センター・自宅で、それぞれ学習に励んでいます。

大きな行事として、運動会・学習発表会があります。今年の運動会は、直前に台風がやってきて開催が危ぶまれましたが、児童生徒の気持ちが届き、運動会日和となりました。

今年の運動会のスローガン「明るく仲良くいきいきと」にこころをこめて、がんばるぞー！

大きな掛け声で運動会は始まりました。小学部の妖怪を取り入れた競技やダンス、中学部の障害物競争やダンス、高等部のリレー、フットダンス、玉入れ。どの演技・競技も子どもたちの頑張りがたくさんみられました。朝早くからお

兵庫県立 北はりま特別支援学校

一校 訓一
明るく 仲良く 生き生きと

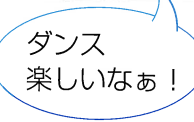
〒679-1112
兵庫県多可郡多可町中区間子602-1
TEL (0795) 32-3672
FAX (0795) 32-3967
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~kitaharima-sn/>



いちにいちに



越しいただいたみなさん、大きな声援をありがとうございます。児童生徒がキラキラ輝く1日となりました。



ダンス 楽しいなあ！



がんばるぞー！

★特別支援教育にかかわる地域のセンター校です！★

本校には、保育園、幼稚園、小中学校の先生、保護者の方々から、いろいろな相談が入ってきます（漢字が覚えられない、座つていられない、友だちとすぐけんかになる・等々）。担当職員がご相談に応じ、お子様の在籍校とも連絡を取り合い支援を行っています。多可地域の皆様のお役に立てるよう頑張っています！

相談を希望される方は、ホームページをご覧ください。

あつたかトピック

■多可町文化祭（子ども作品展）

本年度も多可町文化祭（子ども作品展）を中央公民館で開催します。

例年、力作ぞろいの作品が出品される作品展。ぜひ一度足をお運びください。

とき 11月2日（日）

午前9時～午後8時

11月3日（月・祝）

午前9時～午後3時

ところ 中央公民館

■多可町子ども芸能祭

第3回目を迎える子ども芸能祭を今年度も開催します。

町内で芸能活動に取り組む子どもたちを対象に、練習成果の発表、交流、発信を行いますのでぜひご観覧ください。

とき 11月23日（日・祝）

午前11時～午後3時

ところ ベルディーホール

※お茶席、バザー等も予定しています。

問合先

こども未来課
☎（32）2385

■カブキッズたか奮闘中！

11月23日（日・祝）の子ども芸能祭本番に向けて、毎週金曜日の夜、カブキッズたかの講座生たちが練習に励んでいます。

現在、町内の小学生7名が中村和歌若師匠、播州歌舞伎クラブのおねえさんに指導を受けています。時にはやさしく時には厳しい声がつぶ中、一生懸命セリフ回しや、演技所作の習得に汗を流しています。

その他、来年1月18日（日）には、『播州歌舞伎クラブ20周年公演』を予定しています。出演する播州歌舞伎クラブ、オーブニングを飾る中町北小学校でも公演の成功に向けて日々練習に励んでいます。



子連協活動をご紹介します

『子連協』とは、子ども会育成連絡協議会の略で地域の子どもの活動を応援するボランティア団体です。様々な活動を通して、子ども会同士、の親睦と相互の協調を図り、会の健全な発展を目指して活動を続けています。

現在、ほとんどの集落の子ども会（63団体）が子連協に加入し様々な活動に参加しています。

本年度、既に実施している事業を含めた主な活動をご紹介します。

■野外活動リーダー研修会

（6月14日～15日）

県立嬉野台生涯教育センターでキャンプ形式による指導及び指導技術の研修を実施しました。児童15名、中学生ボランティア3名が参加。



■オセロ・将棋大会（7月13日）

中央公民館において将棋大会（低学年の部7名、高学年の部3名）、オセロ大会（低学年の部10名、高学年の部9名）を開催しました。オセロ大会の優勝者は、11月2日に開かれる県大会に出場します。



■少年少女ミニサッカー大会

（11月30日実施予定）

例年、熱戦が繰り広げられる小学生を対象とした大会です。本年度は11月下旬に実施を予定しています。



■子ども安全共済会の加入の斡旋

子ども会活動中の事故等により、加入者が傷害、又は疾病を被った場合に県子ども会連合会を通じて見舞金が支払われます。

ただし、単位子ども会で加入申込み（申込書・共済掛金（70円/人）が必要です。

子連協組織図

会長 1名
副会長 2名

幹事（部長・副部长） 9名

野外活動部
（キャンプ）
委員 16名

中学球技部
（グラウンドゴルフ）
委員 17名

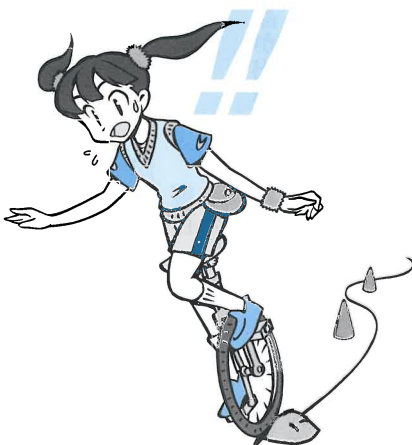
小学球技部
（ミニサッカー）
委員 18名



■少年少女球技大会

（グラウンドゴルフ）（7月27日）

中学生を対象に中央公園グラウンドで実施しました。16チーム126名の参加があり、暑い最中でしたが、非常に盛り上がった大会となりました。



※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【問い合わせ先】多可町教育委員会こども未来課 TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142 E-mail:kodomo@town.taka.lg.jp